

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔社会〕 種目〔地理的分野〕

③ 教科 [社会] 種目 [地理的分野]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書(教科 [社会] 種目 [地理的分野])」(以下、「報告書」という。)並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者(4者)の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

- (1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について
 - 都市再開発、高速道路の整備、自然災害等、状況が大きく変容しており、地域の実態や課題を調べる学習に適した地域であること
 - 地図や諸資料を有効に活用して事象を説明する力に課題が見られること
 - 自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする力に課題が見られること
- (2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について
 - 観点1「基礎・基本の定着」、視点②「国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫」
 - 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
 - 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「問題解決的な学習を実施するための工夫」
 - 観点5「言語活動の充実」、視点⑨「様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫」

2 各発行者の特徴(抜粋)

- (1) 観点1「基礎・基本の定着」、視点②「国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気候帯(寒帯・冷帯で4ページ)の人々の生活、気候、宗教、暮らしの変化について説明している。なお、6地域を学習した後、各気候帯の特徴をまとめる構成となっている。 ○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「日本の伝統的な工法で造られる上総掘りの井戸」、「アフリカの学校で理科を教える日本人」、「青年海外協力隊の活動」(計3点)を掲載している。 ○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「基礎・基本のまとめ」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行い、「まとめの活動」では、各州で着目した「地球的課題」を、探究のステップで例に挙げた資料を参考にしながら、振り返る学習活動を設定している。 ○ 特設ページ「資料から発見」を設け、資料を読み取る力や、考える力、説明する力などの、地理的な技能を身に付けさせる学習活動を設定している。 ○ コラム「スキルアップ」を設け、雨温図の読み取り方や、地形図の読み取り方などの技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気候帯(寒帯・冷帯で2ページ)の人々の生活、気候、宗教、民族・言語について説明している。なお、各気候帯の特徴を学習した後、6地域を学習する構成となっている。 ○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「電柱を設置する現地の労働者と日本人の技師」(計1点)を掲載している。 ○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「学習のまとめと表現」を設け、各州で学習した基礎的な知識を確認するなどの、学習活動を設定している。 ○ コラム「地理の技」を設け、日本の略地図の描き方や、新旧の地形図を比較するなどの、地理的な技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。

<p>帝 国 書 院</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気候帯（寒帯・冷帯で2ページ）の人々の生活、気候、宗教、生活の変化について説明している。なお、各気候帯の特徴を学習した後、6地域を学習する構成となっている。 ○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「ネリカ米の栽培指導をする日本の青年海外協力隊の技術者」（計1点）を掲載している。 ○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「節の学習を振り返ろう」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行い、ステップ1からステップ2を通して、州の特色を考える課題を掲載し、ステップ3では、発展的な課題として、持続可能な社会に向けて考える学習活動を設定している。 ○ コラム「技能をみがく」を設け、時差の調べ方や、ルートマップの作り方などの技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。
<p>日 本 文 教 出 版</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「世界各地の人々の生活と環境」で、6気候帯（寒帯・冷帯で2ページ）の人々の生活、気候、宗教、言語について説明している。なお、各気候帯の特徴を学習した後、6地域を学習する構成となっている。 ○ 「国際理解」について、小項目「アフリカ州」で、アフリカを支援するための日本の活動として、「アフリカで医療や衛生についての活動をする国際協力機構(JICA)の隊員」、「日本の企業の協力で建設されたアルミニウムの生産工場」（計2点）を掲載している。 ○ 中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「学習のまとめ」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行うことができる学習活動を設定している。 ○ コラム「スキルアップ」を設け、地図の活用法や、写真の活用法などの技能を身に付けさせる学習課題を掲載している。

(2) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

<p>東 京 書 籍</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、「瀬戸大橋」等の関連する写真を掲載している。また、キャラクターの吹き出しで「このような大きな橋ができたことで、暮らしはどのように変わったのだろうか。」と掲載し、写真との関連付けをしている。 ○ 小項目の課題を「探究課題」として、資料から読み取った情報をもとにして、「中国・四国地方では、なぜ交通・通信網が重要な役割を果たしているのでしょうか」と示し、更に本文ページにも、「どのような」、「どのように」等の学習課題を掲載している。 ○ 本文ページの「チェック」で、基礎的・基本的な内容を確認する活動を設けている。 ○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」として、「〇〇地方をふり返ろう」を設け、各地方の特色等をまとめる学習を行うために、探究のステップを解決しながら振り返る学習活動を設けている。また、「まとめの活動」では、探究課題を踏まえて、より発展的な課題に取り組む学習活動を設けている。 ○ 振り返るための活動の工夫として、「みんなでチャレンジ」を設け、グループで話し合う学習課題を掲載している。 ○ 特設ページ「もっと地理」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。
----------------------------	---

教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、「地域で予想される災害について学ぶ」、「水島コンビナート」等の関連する写真を掲載している。 ○ 小項目の課題を「学習の視点」として、「人口集中や人口減少の視点から、中国・四国地方の特色を考えていこう」と示し、更に本文ページにも、「どのような」、「どのように」等の学習課題を掲載している。 ○ 本文ページの「確認」で、この時間で学習したことを振り返って確認する活動を設けている。 ○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「学習のまとめと表現」として、「ワードチェック」で語句の確認を行い、「地図を使って確かめよう」、「表現しよう」を設け、「意見を交換しよう」では、他者と意見を交換しながら振り返る学習活動を設けている。 ○ 特設ページ「現代日本の課題を考えよう」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、中国・四国地方の地図を掲載するとともに、「厳島神社」、「鳥取砂丘」等の関連するイラストを掲載している。また、「探してみよう」を設け、小学校で学習したことを振り返る学習活動を設けている。さらに、「写真で眺める中国・四国地方」を設け、関連する写真を掲載している。 ○ 小項目の課題を「節の問い」として、「中国・四国地方における交通網や通信網の整備は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか」と示し、さらに本文ページにも、「どのような」、「どのように」等の学習課題を掲載している。 ○ 本文ページの「確認しよう」で、学習上大切な事項を確認する活動を設けている。 ○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「節の学習を振り返ろう」として、「学んだことを確かめよう」で語句の確認などを行い、ステップ1からステップ2で「節の問い」について振り返る学習活動を設けている。また、ステップ3では、より発展的な課題に取り組む学習活動を設けている。 ○ 特設ページ「地域の在り方を考える」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目「中国・四国地方」の冒頭に、中国・四国地方の面積・人口・県内総生産を掲載するとともに、「たいの養殖」、「厳島神社」等の関連するイラストを掲載している。また、「クイズ」を設け、岡山市の人口に関する課題を掲載している。 ○ 小項目の課題を「人口や都市・村落をテーマに」と示し、更に本文ページにも、「どのような」、「どのように」等の学習課題を掲載している。 ○ 本文ページの「確認」で、見開きの学習の理解を確かにするための活動を設けている。 ○ 中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「学習のまとめ」で、語句の確認などを行い、また「アクティビティ」を付し、学習内容の理解を深めながら、振り返る学習活動を設けている。 ○ 特設ページ「自由研究」や「チャレンジ地理」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。

(3) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「問題解決的な学習を実施するための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「地域調査の手法」で、16ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「情報を集める」、「調査テーマを決める」、「仮説を立てる」、「調査計画を立てる」、「調査する」、「考察しまとめる」、「発表する」の順で掲載している。 ○ 問題解決的な学習に役立てるために、「スキルアップ」を設け、「調査テーマを決めるヒント」、「身近な地域の情報の集め方」、「地形図の読み取り方」、「空中写真と比較した土地利用の読み取り」、「デジタル地図の使い方」等を掲載している。 ○ 世界の諸地域や日本の諸地域の学習で、「まとめの活動」を設け、「探究のステップ」で挙げた資料や学習した内容に関連する資料を取り上げながら問題を解決していく学習活動を設定している。 ○ 資料や学習課題に「見方・考え方」マークを付し、地理的な見方・考え方を活用して考察を深める活動を設定している。
教育出版社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「地域調査の手法」で、14ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「野外観察をし、地域の情報を集める」、「調査テーマを決める」、「テーマごとに調べる」、「考察してまとめる」、「資料をつくる」、「調査結果を伝える」の順で掲載している。 ○ 問題解決的な学習に役立てるために、「地域調査の手引き」を設け、「調査計画書をまとめる」、「気づいたことや疑問を分類する」、「地形図の読み取り方」、「聞き取り調査」、「調査結果をまとめる」を掲載している。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「地域調査の手法」で、12ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「テーマを決める」、「調査方法を考える」、「野外調査をする」、「文献調査をする・まとめ」の順で掲載している。 ○ 問題解決的な学習に役立てるために、「技能をみがく」を設け、「ルートマップの作り方」、「地形図の使い方①～縮尺と地図記号～」、「地形図の使い方②～等高線と断面図～」、「新旧の地形図の比較」、「地形図の使い方③～地理院地図～」等を掲載している。 ○ 「節の学習を振り返ろう」を設け、「『地理的な見方・考え方』を働かせて説明しよう」において、関連が深い見方・考え方を掲載している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「地域調査の手法」で、20ページにわたり、問題解決的な学習を実施するための手立てを掲載し、問題解決的な学習を実施する流れとして、「地域を見直す」、「調査テーマを決める」、「調査計画を立てる」、「調査を進める」、「調査結果をもとに考察する」、「調査結果をまとめる」、「調査結果を発表する」の順で掲載している。 ○ 問題解決的な学習に役立てるために、「スキルアップ」を設け、「地域の特色をつかむための五つの視点」、「地形図のしくみと約束を知る」、「デジタル地図にふれてみよう」、「地形図を身近な地域の調査に役立てる」、「関連図のつくり方」等を掲載している。 ○ 見開きページの学習課題に「見方・考え方」マークを付し、学習課題を解決するための手がかりを示している。

(4) 観点5「言語活動の充実」、視点⑨「様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するために、特設ページ「資料から発見」を設け、地域に特徴的な資料を取り上げ、読み取ったり考えたりすることで、資料を読み取る力を身に付ける学習活動を設定している。また、「スキルアップ」では、統計資料の使い方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。 ○ 中項目「日本の諸地域」では、「なぜ」という発問により小単元を貫く「探究課題」を示し、見開きごとに「探究課題」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、教科書の内容の「チェック」と、その情報をもとに理由を考察したり、自分の言葉で説明したりする「トライ」の二段階に分けた活動を設定している。 ○ 大項目「地域の在り方」では、持続可能な開発目標（SDGs）を冒頭に示し、「課題を見つけ」、「構想テーマを決める」、「情報を集める」、「要因を考察する」、「対策を考える」、「発表する」の順で掲載し、身近な地域の特色や課題を、SDGsに関連付けながら考察する学習活動を設定している。 ○ 「まとめの活動」を設け、「ウェビングマップ」、「クラゲチャート」、「ランキング」などのシンキングツールを利用して、導入で示された「探究課題」について、考えたことを自分の言葉でまとめる学習活動を設定している。 ○ 「まとめの活動」の中に、「みんなでチャレンジ」を設け、グループで活動する課題や、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するために、コラム「地理の技」を設け、地図やグラフなどの扱い方を学習する活動を設定し、特設ページ「地理にアプローチ」では、人口ピラミッドのつくり方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。 ○ 中項目「日本の諸地域」では、「学習の視点」を示し、見開きごとに「学習の視点」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、「確認」と「表現」の二段階に分けた活動を設定している。 ○ 大項目「地域の在り方」では、農村や都市の課題やニュータウンを例に示し、「地域の課題をとらえる（1）（2）」、「地域の課題を調べる」、「地域に向けて発信する」の順で掲載し、身近な地域を観察し、調査テーマを決定し、集めた資料をもとに考察する学習活動を設定している。 ○ 「学習のまとめと表現」を設け、「表現しよう」で思考を整理し、「意見を交換しよう」では、導入で示された「学習の視点」について、考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するために、コラム「技能をみがく」を設け、地図帳の使い方等の基礎的な技能を身に付ける学習活動を設定している。また、「スキルアップ」では、統計資料の使い方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。 ○ 中項目「日本の諸地域」では、「章のねらい」と「第〇節の問い」という小単元を貫く課題を示し、見開きごとに「節の問い」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、本文や図版を確認する「確認しよう」と、その情報をもとに「学習課題」を解決するための「説明しよう」の二段階に分けた活動を設定している。 ○ 大項目「地域の在り方」では、持続可能な社会に向けて考えたことや、地球的課題を冒頭で示し、「課題を把握しよう」、「地域をとらえよう」、「課題の要因を考察しよう」、「課題の解決に向けて構想しよう」、「構想の成果を発信しよう」の順で掲載し、調査をして、考察する学習活動を掲載している。 ○ 「節の学習を振り返ろう」を設け、導入で示された「節の問い」について、ステップ1からステップ3で考えたことを、自分の言葉でまとめる活動を設定している。また、ステップ3ではグループで活動する課題を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。

日 本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するために、コーナー「スキルアップ」を設け、統計資料の使い方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。 ○ 中項目「日本の諸地域」では、「地域的な特色を追究するためのテーマ」という小単元を貫く課題を示し、見開きごとに「追究するテーマ」に沿った「学習課題」を設定している。また、「学習課題」のまとめとして、「確認」において自分の言葉で説明する活動を設定している。 ○ 大項目「地域の在り方」では、京都市を例に示し、「地域の課題と特色をつかもう」、「地域の課題の要因を考察しようー自然と防災班ー」、「地域の課題の要因を考察しようー交通と観光班ー」、「課題の解決に向けて構想しよう」、「まちづくり会議を開こう」の順で掲載し、調査結果を分析・考察し、地域の特色をまとめていく学習活動を掲載している。 ○ 「学習のまとめ」を設け、「ダイヤモンドランキング」、「関係図づくり」、「P MI表づくり」などのシンキングツールを利用して、導入で示された「追究するテーマ」について、考えたことを自分の言葉でまとめる活動を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。
----------------------------	---

3 意見

(1) 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点②の工夫として、中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「基礎・基本のまとめ」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行い、「まとめの活動」では、各州で着目した「地球的課題」を、探究のステップで例に挙げた資料を参考にしながら、振り返る学習活動を設定している。
- 視点②の工夫として、特設ページ「資料から発見」を設け、資料を読み取る力や、考える力、説明する力などの、地理的な技能を身に付けさせる学習活動を設定している。
- 視点③の工夫として、小項目の課題を「探究課題」として、資料から読み取った情報をもとにして、「中国・四国地方では、なぜ交通・通信網が重要な役割を果たしているのでしょうか」と示し、更に本文ページにも、「どのような」、「どのように」等の学習課題を掲載している。
- 視点③の工夫として、中項目「日本の諸地域」の各小項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」として、「〇〇地方をふり返ろう」を設け、各地方の特色等をまとめる学習を行うために、探究のステップを解決しながら振り返る学習活動を設けている。また、「まとめの活動」では、探究課題を踏まえて、より発展的な課題に取り組む学習活動を設けている。
- 視点④の工夫として、世界の諸地域や日本の諸地域の学習で、「まとめの活動」を設け、「探究のステップ」で挙げた資料や学習した内容に関連する資料を取り上げながら問題を解決していく学習活動を設定している。
- 視点④の工夫として、資料や学習課題に「見方・考え方」マークを付し、地理的な見方・考え方を活用して考察を深める活動を設定している。
- 視点⑤の工夫として、「まとめの活動」を設け、「ウェビングマップ」、「クラゲチャート」、「ランキング」などのシンキングツールを利用して、導入で示された「探究課題」について、考えたことを自分の言葉でまとめる学習活動を設定している。
- 視点⑥の工夫として、「まとめの活動」の中に、「みんなでチャレンジ」を設け、グループで活動する課題を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、本市の「地域の実態や課題を調べる学習に適した地域である」という実態や、生徒の「地図や諸資料を有効に活用して事象を説明する力に課題が見られる」、「自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする力に課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、社会科 地理的分野で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 帝国書院の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点②の工夫として、中項目「世界の諸地域」の、各小項目の最後に「節の学習を振り返ろう」を設け、各州で学習した基礎的な知識の確認等を行い、ステップ1からステップ2を通して、州の特色を考える課題を掲載し、ステップ3では、発展的な課題として、持続可能な社会に向けて考える学習活動を設定している。
- 視点③の工夫として、「探してみよう」を設け、小学校で学習したことを振り返る学習活動を設けている。
- 視点③の工夫として、特設ページ「地域の在り方を考える」を設け、小項目で学習した内容を深め、身近な問題として捉えることのできる学習課題を掲載している。
- 視点④の工夫として、「節の学習を振り返ろう」を設け、「地理的な見方・考え方」を働かせて説明しようにおいて、関連が深い見方・考え方を掲載している。
- 視点⑤の工夫として、資料を有効に活用するために、コラム「技能をみがく」を設け、地図帳の使い方等の基礎的な技能を身に付ける学習活動を設定している。また、「スキルアップ」では、統計資料の使い方などの技能を身に付ける学習活動を設定している。
- 視点⑥の工夫として、「節の学習を振り返ろう」を設け、導入で示された「節の問い」について、ステップ1からステップ3で考えたことを、自分の言葉でまとめる活動を設定している。また、ステップ3ではグループで活動する課題を設け、論述したり、意見交換したりする学習活動を設定している。

以上のとおり、帝国書院の教科書は、1(1)に記した、本市の「地域の実態や課題を調べる学習に適した地域である」という実態や、生徒の「地図や諸資料を有効に活用して事象を説明する力に課題が見られる」、「自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする力に課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、社会科 地理的分野で使用する教科書としてふさわしいと考える。

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔社会〕 種目〔歴史的分野〕

4 教科 [社会] 種目 [歴史的分野]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書(教科 [社会] 種目 [歴史的分野])」(以下、「報告書」という。)並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者(7者)の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

- (1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について
 - 人類史上最初の被爆都市であり、原爆ドームなど平和の原点となる場所や、歴史的建造物や遺構などが多数存在すること
 - 身近な地域の調査や体験活動を通して、歴史を直接感じることができる地域であること
 - 歴史的事象を多面的・多角的に考察する力に課題が見られること
 - 歴史に見られる課題を把握し、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題が見られること
- (2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について
 - 観点1「基礎・基本の定着」、視点②「国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫」(古代・中世(報告書において、同時代は日本が国家を形成し、発展させていく上で、特に東アジアとの深い関わりが見られた時代であるため))
 - 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
 - 観点4「内容の表現・表記」、視点⑦「本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方」(特に原爆被害、復興、平和発信に関することなどを取り上げて記載)
 - 観点5「言語活動の充実」、視点⑨「様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫」

2 各発行者の特徴(抜粋)

- (1) 観点1「基礎・基本の定着」、視点②「国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「大陸の玄関口・福岡」を掲載している。また、「もっと歴史」に、「東アジア世界の国々の交流と琉球文化」を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「基礎・基本のまとめ」で、基礎的な語句の確認に表現活動を設けている。また、「まとめの活動」で「探究課題」を解決する活動を設定している。 ○ 特設ページ「資料から発見」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるために、学習課題を設けている。 ○ コーナー「スキルアップ」を設け、系図やグラフの読み取り方等に関する学習課題を設けている。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、コラム「歴史の窓」を設け、「宋と高麗」、「一つになるユーラシア世界」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「学習のまとめと表現」で、基礎的な語句の確認等を行い、「原始・古代の時代の特色を考えよう」という活動を設定している。 ○ 特設ページ「歴史の技」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。

帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を探ろう」を設け、「東アジアに開かれた窓口 博多」を掲載している。また、コラム「未来に向けて」に、「東アジアの美、磁器」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「章の学習を振り返ろう」で、基礎的な語句の確認等を行い、時代の特色を穴埋め形式で解決する活動を設定している。 ○ コラム「技能をみがく」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。
山川出版社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史へのアプローチ」を設け、「中国の記録に見る日本列島」、「東西ユーラシアの動き」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「まとめ」で、基礎的な語句の確認等を行う活動を設定している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を掘り下げる」を設け、「朝貢・冊封とは何か」を掲載している。また、コラム「地域に学ぶ」に、「久米村でつくられた外交文書」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「学習の整理と活用」で、基礎的な語句の確認等を行い、「アクティビティ」で、時代の特色を考える活動を設定している。 ○ コーナー「スキルアップ」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「このころ世界は」を設け、「ローマ帝国と日本の古墳時代」、「ユーラシアを一つにつないだモンゴル」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「学習のまとめ」で、基礎的な語句の確認等を行い、時代の特色をノートに記述する活動を設定している。
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、コラムで「稲作のはじまりと広がり」、「朝鮮の使節が見た日本の農業」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「第〇章をふりかえる」で、基礎的な語句の確認等を行い、「学習のまとめ」で、学習してきたことを記述する活動を設定している。

(2) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「導入の活動」を設け、「平城京が造られた背景にせまろう」等のグループで話し合う課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題とともに、各小項目の課題を「探究のステップ」として段階的に示している。 ○ 中項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、中項目の課題を「探究のステップ」と示し、2～4ステップで、段階的に探究課題を解決するような学習活動を設定している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「学習を始めよう」を設け、「社会はどのように変化したのか、予想してみましょう」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、対応する小項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、語句等の確認を行い、文化について説明する活動や、時代の特色を振り返る学習活動を設定している。

帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「タイムトラベル」を設け、「前の時代と比べて特色を考えよう」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、対応する小項目の冒頭に、中項目の課題とともに、小項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、語句等の確認を行い、3ステップで段階的に考えを整理したり、話し合いをしたりしながら、中項目の課題解決を行う学習活動を設定している。
山川出版社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、関連する写真やイラスト、年表などを掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「まとめ」を設け、語句等の確認や、「まとめてみよう」、「考えてみよう」等の学習内容を振り返る学習活動を設定している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「地図で見る世界の動き」を設け、「地図を見比べよう」等のグループで話し合う課題を、写真、イラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「学習の整理と活用」を設け、語句等の確認を行い、「アクティビティ」で時代の特色を振り返る学習活動を設定している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「鳥の目で見ると」、「虫の目で見ると」を設け、「この絵から、どんなことが分かるかな？」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、ノートに記述することで、時代の特色を振り返る学習活動を設定している。
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭の、扉ページでは、テーマ別にそのテーマに関連した写真を掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「章をふりかえる」を設け、語句等の確認を行い、前の時代と比較しながら、時代の特色を振り返る学習活動を設定している。

(3) 観点4「内容の表現・表記」、視点⑦「本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真188点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「廃きよになった広島」、「長崎に落とされた原子爆弾」の写真を掲載している。 ○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「広島の復興と平和への思い」をテーマに、「広島市」を取り上げ、広島が復興した背景を追究するために、広島平和記念資料館での調査を基に、平和都市としての広島の課題を考え、将来の広島の構想について話し合う課題解決的な学習活動を設定している。 ○ 35件のウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「Dマーク」を付している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真187点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「被爆後の広島」の街、「長崎に投下された原子爆弾」の写真を掲載している。 ○ 46件のウェブコンテンツにアクセスできるようQRコードを掲載している。また、対応する箇所には「まなびリンク」を付している。

帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 236 点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原子爆弾によって廃墟となった広島」、「長崎に投下された原子爆弾」の写真を掲載している。 ○ 5 件のウェブコンテンツにアクセスできるよう QR コードを関連する箇所に掲載している。
山川出版社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 198 点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「広島と長崎への原子爆弾の投下」として、「広島の爆心地」、「原爆投下後の長崎」の写真を掲載している。 ○ 特設ページ「地域からのアプローチ」を設け、「広島」をテーマに取り上げ、原爆の被害や復興等についての学習課題を 8 つ掲載している。 ○ 14 件のウェブコンテンツにアクセスできるよう QR コードを掲載している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 137 点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原子爆弾投下 2 か月後の広島」、「長崎に落とされた原爆のきのこ雲」の写真を掲載している。 ○ 14 件のウェブコンテンツにアクセスできるよう QR コードを掲載している。また、対応する箇所にはデジタルマークを付している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 125 点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原爆ドーム」、「原爆で破壊された浦上天主堂」の写真を掲載している。
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1)古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 190 点を掲載している。 ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原爆で壊滅した広島市の爆心地付近／原爆ドーム（産業奨励館）」、「原爆のきのこ雲」の写真を掲載している。

(4) 観点 5 「言語活動の充実」、視点⑨「様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキルアップ」を掲載している。 ○ 各中項目の最後に、「まとめの活動」を設け、X チャートやマトリックスの思考ツールを用いながら、時代の特色を考察する学習活動を設定している。 ○ 見開きページに、「トライ」を設け、「次の語句を使って説明しましょう」、「20 字程度で説明しましょう」等、論述する学習活動を設定している。 ○ 「みんなでチャレンジ」を随所に設け、「グループで話し合しましょう」、「クラスで発表し、意見を交換しましょう」等、意見交換をする学習活動を設定している。 ○ 各中項目の最後に「まとめの活動」を設け、その中で、「みんなでチャレンジ」を付し、時代の特色をまとめるために、意見交換をする学習活動を設定している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「歴史の技」を掲載している。 ○ 各中項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、時代の変化に注目して、学習した時代の特色を考察する学習活動を設定している。 ○ 見開きページに、「表現！」を設け、「～について説明しよう」、「話し合おう」等、論述する学習活動を設定している。 ○ 各中項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、時代の変化に注目するために、「話し合おう」等、意見交換をする学習課題を掲載している。

帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「技能をみがく」を掲載している。 ○ 各中項目の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、自分の考えを整理しながら、時代の特色を考察する学習活動を設定している。 ○ 見開きページに、「説明しよう」を設け、「特徴から説明してみよう」、「理由を説明してみよう」等、論述する学習活動を設定している。 ○ 特設ページ「多面的・多角的に考えてみよう」を設け、「意見を発表し合おう」、「グループで話し合ってみよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。 ○ 各中項目の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、ステップ2で、「話し合いを通して自分の考えを深めよう」等、意見交換をする学習課題を掲載している。
山川出版社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各中項目の最後に、「まとめ」を設け、表にまとめたり、説明したりするなどの、考察する学習活動を設定している。 ○ 見開きページに、「ステップアップ」を設け、「考えてみよう」、「まとめてみよう」、「調べてみよう」等、論述する学習活動を設定している。 ○ 特設ページ「歴史を考えよう」を設け、取り上げた課題を話し合いながら、考察するなどの学習活動を設定している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキルアップ」を掲載している。 ○ 各中項目の最後に、「学習の整理と活用」を設け、「アクティビティ」で、時代の特色を考察する学習活動を設定している。 ○ 見開きページに、「確認」を設け、「理由を説明しましょう」、「影響について説明しましょう」等、論述する学習活動を設定している。 ○ 特設ページ「チャレンジ歴史」を設け、「あなたの考えを説明してみよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、まとめの作業を手がかりにしながら、時代の特色を考察する学習活動を設定している。 ○ 見開きページに、えんぴつのマークを付し、「説明しましょう」、「まとめましょう」等、論述する学習活動を設定している。 ○ 特設ページ「歴史のターニングポイント」を設け、「それぞれの立場から意見を出し合い、クラスで話し合ってみよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各中項目の最後に、「章をふりかえる・部の学習のまとめ」を設け、「前の時代と比べたりしながら」等発問により、時代の特色を考察する学習活動を設定している。 ○ 特設ページ「歴史を体験する」を設け、「話し合いましょう」、「対話・討論する」等、意見交換をする学習活動を設定している。 ○ 各中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、「グループやクラスで話し合いましょう」、「発表を聞いて」等、意見交換をする学習活動を設定している。

3 意見

(1) 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点②の工夫として、「基礎・基本のまとめ」で、基礎的な語句の確認に表現活動を設けている。また、「まとめの活動」で「探究課題」を解決する活動を設定している。
- 視点②の工夫として、歴史学習に必要な技能を身に付けさせるために、言語活動を含む学習課題を取り入れた特設ページ「資料から発見」を設けている。
- 視点③の工夫として、学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題とともに、各小項目の課題を「探究のステップ」として段階的に示している。
- 視点③の工夫として、各小項目の課題を「探究のステップ」と示し、2～4ステップで段階的に解決していくように示している。

- 視点⑦の工夫として、特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「広島復興と平和への思い」をテーマに、「広島市」を取り上げ、広島が戦後から復興した背景を追究し、現在の広島の課題を考え、将来の広島の構想について話し合う課題解決的な学習活動を設定している。
- 視点⑧の工夫として、各中項目の最後に「まとめの活動」を設け、Xチャートやマトリックスなどの思考ツールを用いながら、時代の特色を考察し、自由に表現する学習活動を設定している。
- 視点⑨の工夫として、「みんなでチャレンジ」を随所に設け、「グループで話し合いましたよ」、「クラスで発表し、意見を交換しましょう」等、意見交換をする学習活動を設定している。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、本市の「身近な地域の調査や体験活動を通して、歴史を直接感じることができる」という実態や、生徒の「歴史的事象を多面的・多角的に考察する力に課題が見られること」、「課題を把握し、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題が見られること」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、社会科 歴史的分野で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 帝国書院の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点②の工夫として、「章の学習を振り返ろう」で、時代の特色を穴埋め形式で表現させる学習課題を設けている。
- 視点②の工夫として、コラム「技能をみがく」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。
- 視点③の工夫として、学習の見通しを立てられるよう、対応する小項目の冒頭に、中項目の課題とともに、小項目の課題を示している。
- 視点③の工夫として、中項目の最後に「章の学習を振り返ろう」を設け、3ステップで段階的に課題解決を行う活動を設定している。
- 視点⑨の工夫として、各中項目の最後に「章の学習を振り返ろう」を設け、意見交換をする学習活動を設定している。

以上のとおり、帝国書院の教科書は、1(1)に記した、本市の「身近な地域の調査や体験活動を通して、歴史を直接感じることができる」という実態や、生徒の「歴史的事象を多面的・多角的に考察する力に課題が見られること」、「課題を把握し、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題が見られること」という状況に対しその課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、社会科 歴史的分野で使用する教科書としてふさわしいと考える。

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔社会〕 種目〔公民的分野〕

5 教科 [社会] 種目 [公民的分野]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書（教科 [社会] 種目 [公民的分野]）」（以下、「報告書」という。）並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者（6者）の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

- (1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について
 - 第一次産業から第三次産業まで様々な産業が見られ、現代生活全般を概観できる地域であること
 - 習得した知識を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察・構想したことを説明する力に課題が見られること
 - 論拠を基に自分の意見を説明、論述したりする力にも課題が見られること
- (2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について
 - 観点1「基礎・基本の定着」、視点①「公民として現代社会の見方・考え方の基礎を培うための工夫」
 - 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
 - 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「問題解決的な学習を実施するための工夫」
 - 観点5「言語活動の充実」、視点⑨「様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫」

2 各発行者の特徴（抜粋）

- (1) 観点1「基礎・基本の定着」、視点①「公民として現代社会の見方・考え方の基礎を培うための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文7ページにわたり説明し、部活動の今後の体育館の使い方を例に、2年前、1年前、現在のそれぞれの状況における解決策を考える学習課題を掲載している。 ○ 各中項目の最後に、「まとめの活動」を設け、中項目「現代社会を捉える枠組み」では、自転車の使用ルールを例に、解決策を考えるようにしている。 ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「まとめの活動」を設け、「みんなでチャレンジ」の中で、「効率」、「公正」の観点から考えさせる学習課題を掲載している。 ○ 公民的な見方・考え方を活用して考察するための学習課題を随所に掲載している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文5ページにわたり説明し、合唱コンクールの練習場所のトラブル、ごみ収集所の設置場所を例に、解決策を考える学習課題を掲載している。 ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、「効率と公正」の観点から考えさせる学習課題を掲載している。 ○ 公民的な見方・考え方を活用する学習課題には、「見×考」マークを付している。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文5ページにわたり説明し、防災備蓄倉庫の新設を例に、状況を確認し、設置場所と掃除規則の解決策を考える学習課題を掲載している。 ○ 特設ページ「アクティブ公民」を設け、ロールプレイングを取り入れながら、解決策を考えるようにしている。 ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、「対立」、「合意」、「効率」、「公正」を例として、考えさせる学習課題を掲載している。

日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文6ページにわたり説明し、合唱コンクールの練習スケジュールを例に、解決策を考えるようにしている。 ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「学習の整理と活用」を設け、「効率」に着目して考えさせる学習課題を掲載している。 ○ 公民的な見方・考え方を活用するための手がかりとして「見方・考え方」マークを付している。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文4ページにわたり説明し、体育館の使い方を例に掲載している。 ○ 特設ページ「アクティブに深めよう」を設け、よりよいまちづくりの具体的方策について考えるようにしている。 ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「学習のまとめと発展」を設け、「公正と効率」の観点から考えさせる学習課題を掲載している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」で、対立と合意、効率と公正について、本文4ページにわたり説明し、昼休みのグラウンドの使い方を例に、解決策を考えるようにしている。 ○ 中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「学習のまとめ」を設け、重要語句の確認の中に「対立・合意」、「効率・公正」を掲載している。

(2) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大項目の冒頭に、関連する写真やイラストと、小学校の社会で習ったことばを掲載している。また、導入の活動として、関連する学習課題を掲載している。 ○ 大項目の学習課題を「探究課題」と示し、中項目の学習課題を「探究のステップ」と示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。 ○ 各大項目の最後に、「探究のステップの問いを解決しよう」を設け、シンキングツールを利用し、各中項目を振り返る学習活動を設定している。 ○ 各大項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」を設け、言語活動を取り入れて語句の確認を行い、「まとめの活動」では、「導入の活動」で示された課題と関連している新たな学習課題について、これまで学習してきた内容や、さまざまな見方・考え方を生かして取り組む学習活動を設定している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大項目の冒頭に、関連する写真を掲載している。また、「学習のはじめに」を設け、導入の活動として、イラストを交えて、関連する学習課題を掲載している。 ○ 大項目の学習課題と、中項目の学習課題を、「学習の見通し」で文章中に示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。 ○ 各大項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、語句の確認などを行い、step 2では、シンキングツールを用いる課題を掲載している。また、step 3では大項目の学習課題に対する自分の考えをまとめる学習活動を設定している。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大項目の冒頭に、「学習の前に」を設け、イラストに関連する学習課題を掲載している。また、「小学校との関連」マークを付し、小学校で学習した内容を掲載している。 ○ 大項目の学習課題を文章中に示し、中項目の学習課題を、「節の問い」と示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。 ○ 各大項目の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、語句の確認などを行い、「節の問い」を3ステップで段階的に大項目の学習課題を解決する学習活動を設定している。また、「章の学習を振り返ろう」の最後に、「次章への準備」を掲載している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大項目の冒頭に、「学習のはじめに」を設け、漫画を掲載し、関連する学習課題を掲載している。 ○ 大項目の学習課題を文章中に示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。 ○ 各大項目の最後に、「学習の整理と活用」を設け、「学習内容と語句の整理」で、語句の確認などを行い、シンキングツールを用いた学習活動を設定している。また、「学習の整理と活用」の最後に、「第〇編に向けてのヒント」を掲載している。

自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大項目の冒頭に、大項目で学習するテーマを文章で記載し、イラストを掲載している。 ○ 大項目の学習課題を文章で示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。 ○ 各大項目の最後に、「学習のまとめと発展」を設け、「学習のまとめ」で、語句の確認などを行い、「学習の発展」では、複数ある課題の中から1つ選び、約400字でまとめる学習活動を設定している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各大項目の冒頭に、関連する写真を掲載し、小学校で学習した関連する語句を掲載している。また、導入の活動として、関連する学習課題を掲載している。 ○ 大項目の学習課題を文章中に示している。また、小項目ごとに「課題」を掲載している。 ○ 各大項目の最後に、「○○のこれから」を設け、章で学んだことをまとめる課題を設定している。また、「学習のまとめ」を設け、語句の確認などを行う学習活動を設定している。

(3) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「問題解決的な学習を実施するための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのように」、「どのような」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 主に資料に「見方・考え方」を付し、重視する観点等を示し、関連する学習課題を掲載している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、複数のテーマの中から解決すべき課題を設定し、資料を集め、探究し、レポートにまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として、「環境・エネルギー」、「人権・平和」、「伝統・文化」、「防災・安全」、「情報・技術」を示している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのように」、「どのような」、「なぜ」という課題を示している。 ○ 主に学習課題に「見方・考え方」を付している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、テーマを選び、私の提案としてのレポートにまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として、「環境・資源」、「平和・人権」、「経済」、「健康」、「教育・文化」、「情報」、「犯罪」を示している。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのように」、「どのような」という課題を示している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、課題を設定し、資料を収集し、考察し、レポートにまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として、「現代社会」、「政治」、「経済」、「国際」を示している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのように」、「どのような」という課題を示している。 ○ 主に小項目の学習課題に「見方・考え方」を付している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、テーマを設定し、資料を収集し、考察や構想し、レポートにまとめて、評価する構成にしている。 ○ テーマ例として「伝統・文化」、「政治・経済」、「人権・平和」、「環境・科学・技術」を示している。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのように」、「どのような」という課題を示している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、課題を見つけ、調べ、解決の方法を考え、卒業論文にまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として「持続可能な日本社会をつくるために私たちは何ができるか」を示している。また、ディベートの設定がある。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目に「どのように」、「どのような」という課題を示している。 ○ 中項目「よりよい社会を目指して」において、問題解決的な学習を実施するために、テーマを決めて、課題探求の計画を立て、プレゼンテーションを行い、内容を見直して、レポートにまとめる構成にしている。 ○ テーマ例として「社会」、「政治・経済」、「国際」、「環境・食料」を示している。

(4) 観点5「言語活動の充実」、視点⑨「様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ コラム「スキルアップ」を設け、公民の学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身に付ける学習課題を掲載している。 ○ 小項目の「トライ」で、学習内容について、「～を考えましょう」や「～を説明しましょう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。 ○ 「導入の活動」と「まとめの活動」に「みんなでチャレンジ」を設け、グループで協力し、意見交換する学習活動を設定している。 ○ 「みんなでチャレンジ」を随所に設け、政治参加や模擬裁判等の意見交換する学習課題を掲載している。
教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ コラム「公民の技」で個人やグループでの活動を通じて、公民の学習で身に付けたい技能や表現力を身に付ける学習課題を掲載している。 ○ 小項目の「表現」で、学習内容について、「自分の考えを説明しよう」や「意見を交換し合ってみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。 ○ 特設ページ「言葉で伝え合おう」を設け、表現活動を中心とした、テーマ学習を行うことができるような学習活動を設定している。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「技能をみがく」で、ディベートやKJ法などの分析を深めるための方法を身に付ける学習課題を掲載している。 ○ 小項目の「説明しよう」で、学習内容について、「～を説明してみよう」の前に、多様な発問により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。 ○ 「章の学習を振り返ろう」では、「見方・考え方を働かせて考えよう」のステップ2で、意見交換をする学習活動を設定している。
日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「情報スキルアップ」を設け、情報の読み取りや、活用する時に必要な知識・技能を身に付ける学習課題を掲載している。 ○ 小項目の「確認」で、学習内容について、「～を考えてみましょう」や「～を説明してみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。 ○ コラム「アクティビティ」で、主体的・対話的な問いを設け、意見交換したりする学習活動を設定している。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目の「やってみよう」で、学習内容について、「～について調べてみよう」や「話し合ってみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。 ○ 特設ページ「アクティブに深めよう」を設け、意見を出し合う等の、意見交換したりする学習活動を設定している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小項目の学習のまとめとして、「～について説明しましょう」や「話し合ってみよう」等の指示により、考察したり、論述したりする学習活動を設定している。 ○ コラム「やってみよう」を設け、「裁判員になって判決を考えよう」等の、意見交換する学習活動を設定している。

3 意見

(1) 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 視点①の工夫として、中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「まとめの活動」を設け、「みんなでチャレンジ」の中で、「効率」、「公正」の観点から考えさせる学習課題を掲載している。
- 視点①の工夫として、公民的な見方・考え方を活用して考察するための学習課題を掲載している。
- 視点③の工夫として、大項目の学習課題を「探究課題」と示し、中項目の学習課題を「探究のステップ」と示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。
- 視点③の工夫として、各大項目の最後に、「探究のステップの問いを解決しよう」を設け、シンキングツールを利用し、各中項目を振り返る学習活動を設定している。
- 視点③の工夫として、各大項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」を設け、言語活動を

取り入れて語句の確認を行い、「まとめの活動」では、「導入の活動」で示された課題と関連している新たな学習課題について、これまで学習してきた内容や、さまざまな見方・考え方を生かして取り組む学習活動を設定している。

- 視点④の工夫として、主に資料に「見方・考え方」を付し、重視する観点等を示し、関連する学習課題を掲載している。
- 視点⑤の工夫として、「導入の活動」と「まとめの活動」に「みんなでチャレンジ」を設け、グループで協力し、意見交換する学習活動を設定している。
- 視点⑥の工夫として、「みんなでチャレンジ」を随所に設け、政治参加や模擬裁判等の意見交換する学習課題を掲載している。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、本市の「様々な産業が見られ、現代生活全般を概観できる地域である」という実態や、生徒の「習得した知識を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察・構想したことを説明する力に課題が見られる」、「論拠を基に自分の意見を説明、論述したりする力にも課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、社会科 公民的分野で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 帝国書院の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点①の工夫として、特設ページ「アクティブ公民」を設け、ロールプレイングを取り入れながら、解決策を考えるようにしている。
- 視点①の工夫として、中項目「現代社会を捉える枠組み」の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、「対立」、「合意」、「効率」、「公正」を例として、考えさせる学習課題を掲載している。
- 視点③の工夫として、大項目の学習課題を文章中に示し、中項目の学習課題を、「節の問い」と示している。また、小項目ごとに「学習課題」を掲載している。
- 視点③の工夫として、各大項目の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、語句の確認などを行い、「節の問い」を3ステップで段階的に大項目の学習課題を解決する学習活動を設定している。また、「章の学習を振り返ろう」の最後に、「次章への準備」を掲載している。
- 視点⑥の工夫として、「章の学習を振り返ろう」では、「見方・考え方を働かせて考えよう」のステップ2で、意見交換をする学習活動を設定している。

以上のとおり、帝国書院の教科書は、1(1)に記した、本市の「様々な産業が見られ、現代生活全般を概観できる地域である」という実態や、生徒の「習得した知識を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察・構想したことを説明する力に課題が見られる」、「論拠を基に自分の意見を説明、論述したりする力にも課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、社会科 公民的分野で使用する教科書としてふさわしいと考える。

令和3年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔社会〕種目〔地図〕

⑥ 教科 [社会] 種目 [地図]

「令和3年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書(教科 [社会] 種目 [地図])」(以下、「報告書」という。)並びに調査員代表からの報告をもとに、各観点及び視点に沿って、全ての発行者(2者)の教科書について、詳細に検討・審議した結果、以下のとおり答申します。

1 審議の際に、特に重点を置いて検討した事項

- (1) 報告書の「2 本市の実態や生徒の状況」について
 - 豊かな自然環境に恵まれ、太田川のデルタ地形に位置し、自然災害等の発生しやすい地域であること
 - 第一次産業から第三次産業まで様々な産業が見られ、地理的・歴史的分野における地域調査や体験活動を行うことに適している地域であること
 - 地図や諸資料を有効に活用して事象を説明することに課題が見られること
 - 自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする力に課題が見られること
- (2) 報告書の「3 調査・研究の観点と視点」について
 - 観点1「基礎・基本の定着」、視点①「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫」
 - 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」
 - 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「学び方・調べ方の題材やその手順の示し方」
 - 観点5「言語活動の充実」、視点⑧「様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫」

2 各発行者の特徴(抜粋)

- (1) 観点1「基礎・基本の定着」、視点①「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページで「日本列島」の地図を、次の見開き2ページで「南西諸島と各群島・列島等」の地図を順に掲載している。 (縮尺：日本列島・南西諸島 550 万分の1、沖縄島 50 万分の1、各群島・列島等 100 万分の1) ○ 「日本の周辺」の地図で、日本の東西南北の最端を地図と写真で示し、竹島と尖閣諸島も地図と写真で示している。また、竹島の地図を「中国・四国地方」、北方領土を含む千島列島の地図を「北海道地方」のページで拡大して掲載している。 ○ 「日本と朝鮮半島との歴史的なつながり」について、朝鮮半島・日本で発掘された遺物を比較する写真を掲載している。 ○ 「九州地方」で、「歴史の舞台・九州地方」として、九州地方が古代から近代にかけて歴史の舞台となったことを示す地図・写真等の資料を掲載している。 ○ 「近畿地方」で、近畿地方のテーマ資料として「江戸時代の大阪」の地図や京都・奈良・神戸の「主な文化財と観光地」の地図を掲載している。 ○ 「東北地方」で、東北地方のテーマ資料として「東日本大震災による被害」について、写真と浸水域を示した地図を掲載している。 ○ 「日本と世界との関係(古代～近世)」について、歴史的な視点からの地図・古図・絵画・写真等の資料を掲載している。 ○ 「日本の自然環境(災害・環境問題)」の2ページで、ハザードマップ例と自然災害の状況を示す写真を掲載している。 ○ 「日本」の各地方地図に、等高段彩図を用いている。 ○ 巻末に「旧国名 1868(明治元)年」の地図を掲載している。
------	---

帝 国 書 院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 折込見開き3ページで「南西諸島と各群島・列島等」の地図を、次の3ページで「日本列島」の地図を順に掲載している。 (縮尺：日本列島・南西諸島400万分の1、沖縄島、各群島・列島等100万分の1) また、そのうち1ページ分で、「南西諸島を中心とした日本列島周辺図」、「沖縄島の土地利用図」、「那覇市中心部地図」を掲載している。 ○ 「日本の領土とその周りの国々」の地図で、日本の東西南北の最端を地図と写真で示している。また、尖閣諸島・竹島・国後島の写真を「日本列島」の折込地図に掲載している。また、竹島の地図を「中国・四国地方」、北方領土を含む千島列島の地図を「北海道地方」のページで拡大して掲載している。 ○ 「北海道地方」のページでは、「北方領土」の問題にかかわる日本とロシア・ソ連の国境の変遷を示す地図を掲載している。 ○ 東アジアと日本の交流の歴史のページを設け、大陸から見た日本の地図を示し、交流の様子を写真とイラストで掲載している。 ○ 「九州地方」で、「火山災害への備え—島原半島—」の鳥瞰図を「防災」に係る資料として掲載している。 ○ 「近畿地方」で、「江戸時代の大阪」の地図や京都・奈良・大阪の文化財や観光地の地図・写真を掲載している。さらに明日香村周辺の写真と斑鳩の文化財等を示した地図を掲載している。 ○ 「東北地方」で、東北地方の資料として「震災の被害と復興」について、震災前・震災直後・復興中の模式図を掲載している。 ○ 「大阪湾周辺の地形～地形と歴史・防災」、「東京都周辺の地形～水と人との関わり・防災～」、「本州中央部と五街道」、「江戸」等、歴史的な視点から地図・年表・グラフ等の資料を掲載している。 ○ 「日本の自然災害・防災」の2ページで、ハザードマップ例と自然災害に対する備えの模式図を掲載している。 ○ 「日本」の各地方地図に、等高段彩図に加えて主な尾根線を描いている。 ○ 巻末に「旧国名1868(明治元年)年」の地図を掲載している。
------------------	---

(2) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点③「興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫」

東 京 書 籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ アジア州、ヨーロッパ州、北アメリカ州で、海洋を含む鳥瞰図を掲載している。 ○ 日本の各地方の基本資料として、各地方の地図と一部拡大地図に続いて、「基礎資料」として生活・産業などのイラストを配した鳥瞰図(自然環境)と2点間の断面図、土地利用・降水量を示した地図を掲載している。さらに「テーマ資料」として、各地方の特徴となるテーマを設定した資料を掲載している。 ○ 世界の各州で、その州に位置する国の国旗を掲載している。 ○ 「世界の資源・エネルギー」で「夜の地球」の画像を掲載している。 ○ 巻末に「都道府県の産品と各所・お国自慢など」を都道府県章とともに掲載している。
帝 国 書 院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の各州で、生活・産業・著名な建築物などのイラストを配した鳥瞰図を掲載している。 ○ 「日本」の各地方で、各地方の地図と一部拡大地図に続いて、「資料」として自然についての地図と2点間の断面図、降水量・人口分布・農業・工業、交通を同じ形式で掲載している。また、地方ごとの特色を示す地図と防災にかかわる地図資料を掲載している。 ○ 世界の各州の地図に、同縮尺・同緯度・同経度の日本を示している。 ○ 世界の各州で、その州に位置する国の国旗を掲載している。 ○ 「世界と日本の鉱産資源」で「宇宙から見た夜の日本列島付近」の画像を掲載している。 ○ 「日本の生活・文化」のページに、各地方の特色のある祭りや、日本の伝統的な料理を掲載している。

(3) 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」、視点④「学び方・調べ方の題材やその手順の示し方」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「この地図帳の地図記号」、「この地図帳の活用方法」で、3ページにわたり地図記号や地図、資料の見方を説明している。 ○ 資料の読み取りのポイントや見方・考え方（考察の視点）を示すためにキャラクターを設定し、吹き出しにより課題を提示している。 ○ 別ページにある、関連する資料に、「ジャンプ」というマークを付している。 ○ 世界と日本を分けた「世界の地名」、「日本の地名」と「資料さくいん」を設けている。また、「資料さくいん」には「歴史」の項目を設けている。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「この地図帳の凡例」、「地図帳の使い方(1)(2)」、「国土地理院の地形図」で、5ページにわたり地図記号や地図、資料の見方、地形図の主な記号について説明している。 ○ 地図活用の技能を身に付けるための「地図活用」のコーナーを設定し、課題を提示している。さらに、さまざまな所に、資料図を見るときに着眼点を示した「学習課題」のコーナーを設定している。 ○ 別ページにある、関連する資料のページ数を、マークで示している。 ○ 世界と日本を分けた「さくいん」を設け、さくいんの引き方について説明するコーナーを設けている。

(4) 観点5「言語活動の充実」、視点⑧「様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫」

東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「キャラクターの吹き出し」により、学習内容を深める活動を掲載している。 ○ 「日本の人口」のページでは、「人口が増えている所にはどんな特徴があるのかな。」、「この見開きページにある資料をあわせて読み取って、日本の人口が今後どうなっていくかを考えましょう。」を「キャラクターの吹き出し」で示している。 ○ 「現代的な諸課題②人口・貧困問題」のページで、「キャラクターの吹き出し」として「カロリー摂取量の少ない地域はどの辺りに広がっているのかな。」を示している。
帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題」と「地図活用」のマークがある箇所の間により、学習内容を深める活動を掲載し、「地図活用」のコーナーでは、基礎的な知識・技能を確認する問いや、「クラスで発表しよう」、「説明しよう」等の言語活動を含む学習課題を掲載している。 ○ 「世界と日本の人口」のページで、「世界の人口増加率の図で人口増加が著しいアフリカの国々の人口構成の特徴を、おもな国の人口ピラミッド・世界の老年人口の割合の図から考え説明しよう。」、「日本の人口増加率の図で人口が増加している都道府県は、老年人口の割合にどのような特徴がみられるか、老年人口の割合の図を参考にして考えよう。」を「地図活用」として示している。 ○ 「世界と日本の人口」のページでは、「学習課題」として「世界と日本の人口分布にはどのような特徴があり、今後どのように推移していくだろうか。」を示している。

3 意見

(1) 帝国書院の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- 観点①の工夫として、折込見開き3ページで「南西諸島と各群島・列島等」の地図を、次の3ページで「日本列島」の地図を順に掲載している。また、日本列島・南西諸島の縮尺を400万分の1、沖縄島、各群島・列島等の縮尺を100万分の1としている。
- 観点①の工夫として、「北海道地方」のページでは、「北方領土」の問題にかかわる日本とロシア・ソ連の国境の変遷を示す地図を掲載している。
- 観点①の工夫として、東アジアと日本の交流の歴史のページを設け、大陸から見た日本の地図を示し、交流の様子を写真とイラストで掲載している。

- 視点③の工夫として、世界の各州の地図に、同縮尺・同緯度・同経度の日本を示している。
- 視点③の工夫として、「日本」の各地方で、各地方の地図と一部拡大地図に続いて、「資料」として自然についての地図と2点間の断面図、降水量・人口分布・農業・工業、交通を同じ形式で掲載している。また、地方ごとの特色を示す地図と防災にかかわる地図資料を掲載している。
- 視点④の工夫として、地図活用の技能を身に付けるための「地図活用」のコーナーを設定し、課題を提示している。さらに、さまざまな所に、資料図を見るときに着眼点を示した「学習課題」のコーナーを設定している。
- 視点⑧の工夫として、「学習課題」と「地図活用」のマークがある箇所問いにより、学習内容を深める活動を掲載し、「地図活用」のコーナーでは、基礎的な知識・技能を確認する問いや、「クラスで発表しよう」、「説明しよう」等の言語活動を含む学習課題を掲載している。

以上のとおり、帝国書院の教科書は、1(1)に記した、本市の「豊かな自然環境に恵まれ、太田川のデルタ地形に位置し、自然災害等の発生しやすい地域である」という実態や、生徒の「地図や諸資料を有効に活用して事象を説明することに課題が見られる」、「自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする力に課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、社会科 地図で使用する教科書としてよりふさわしいと考える。

(2) 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- 視点①の工夫として、見開き2ページで「日本列島」の地図を、次の見開き2ページで「南西諸島と各群島・列島等」の地図を順に掲載している。また、日本列島・南西諸島の縮尺を550万分の1、沖縄島の縮尺を50万分の1、各群島・列島等の縮尺を100万分の1としている。
- 視点①の工夫として、「日本と朝鮮半島との歴史的なつながり」について、朝鮮半島・日本で発掘された遺物を比較する写真を掲載している。
- 視点③の工夫として、日本の各地方の基本資料として、各地方の地図と一部拡大地図に続いて、「基礎資料」として生活・産業などのイラストを配した鳥瞰図（自然環境）と2点間の断面図、土地利用・降水量を示した地図を掲載している。さらに「テーマ資料」として、各地方の特徴となるテーマを設定した資料を掲載している。
- 視点④の工夫として、「この地図帳の地図記号」、「この地図帳の活用方法」で、3ページにわたり地図記号や地図、資料の見方を説明している。
- 視点⑧の工夫として、「キャラクターの吹き出し」により、学習内容を深める活動を掲載している。

以上のとおり、東京書籍の教科書は、1(1)に記した、本市の「豊かな自然環境に恵まれ、太田川のデルタ地形に位置し、自然災害等の発生しやすい地域である」という実態や、生徒の「地図や諸資料を有効に活用して事象を説明することに課題が見られる」、「自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりする力に課題が見られる」という状況に対し、その課題等の解決に向けた教科指導を行っていく上で、社会科 地図で使用する教科書としてふさわしいと考える。

